

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# コマなく さんぽ



板橋区

## 熱帯環境再現施設にリニューアル

1979年に開館し、温室植物園として運営していた同館は、1994年老朽化を機に熱帯雨林の再現をコンセプトとした植物園としてリニューアルオープンしました。

当時、熱帯産木材の最大の輸入国であった日本の現状と照らし合わせて、日本から一番近い熱帯林である「東南アジアの熱帯林」を再現することで、地球環境保全について考える施設を目指しています。

## 楽しみながら学ぶ博物館型植物館

マレーシアを中心とした東南アジアの海から高山帯へ続く一連の熱帯環境を、「ミニ水族館」、「潮間帯植生」、「熱帯低地林」、「集落景観」、「雲霧林(冷室)」の5つのゾーンで紹介しています。

ミニ水族館には、東南アジアを中心とした海水・汽水・淡水の魚や生物の約150種2500匹を展示。池水槽では、日本で唯一ここだけで見られるという、世界最大の淡水エイ「ヒマンチュラチャオプラヤ」が飼育されています。

水族館以外のゾーンでは、東南アジアの熱帯雨林を代表する樹木のフタバガキ類やマングローブ植物、食用や薬用、香料に利用する植物、食虫植物といったさまざまな植物、さらにはニッパヤシの葉で屋根を葺いた「マレーハウス」などを見ることができます。

## 環境問題への興味を深める場に

環境問題に興味を持ってもらえるように、子ども達にも分かりやすい展示となっています。屋内でありながら滝や大きなエイの展示など見どころも多く、ガイドボランティアによる「館内ガイドツアー※」や、魚が食事をする様子を観察できる「水族館のごはんの時間※」といったイベントも毎週末開催され、幼児から高齢者まで幅広い層に利用されています。館内はバリアフリーで、車いすやベビーカーも利用でき、今年度からは「赤ちゃんの駅(授乳室)」が開設され、さらに利用しやすい施設になっています。

ねったいかんは、今後環境について学べる施設として、SDGsについても発信していきます。

※コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年9月時点で中止となっています。

## 地球環境問題やSDGsに興味と関心を持つ機会に 「熱帯環境植物館(ねったいかん)」

日本と関係の深い東南アジアの熱帯雨林を再現した熱帯環境植物館は、水族館と4つの植生ゾーンからなる施設です。熱帯や地球環境をテーマにさまざまな企画展示やイベントもっており、熱帯の環境を楽しみながら学ぶことができます。



「熱帯低地林」の目玉展示は、母樹を絞め殺して伸びる「アコウの木」



地下1階の「ミニ水族館」



「マレーハウス」のある「集落景観」



熱帯雨林の破壊と修復などを常設展示



館内ガイド「水族館のごはんの時間」

## 年間を通してさまざまな企画展示を行っています。

- アマゾン展 10月19日～11月14日
  - クリスマス展 12月7日～12月26日
  - らん・らん・蘭展 1月4日～1月16日
- (展示内容に変更がある場合があります。)

## 熱帯環境植物館(ねったいかん)

所在地 板橋区高島平8-29-2  
開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)  
休園日 月曜日(祝日・休日の場合は、翌日)、年末年始  
入館料 大人:260円、小・中学生:130円、未就学児:無料  
アクセス 都営三田線高島平駅より徒歩約7分  
お問合わせ 03-5920-1131

